

目次

- 2…事業・会計報告
- 3…創立80周年に思う
- 4…80周年記念事業など
- 5…80周年記念募集中間報告
- 6…大阪白水会の社団法人化について
- 7…退職のご挨拶
- 8…各科だより
- 10…社会人一年生
- 12…文化祭・体育祭
- 14…部活動報告
- 16…先生お元気ですか
- 18…こんなかい どんないかい
- 19…東京支部
- 21…会員だより
- 23…会費寄付納入一覧

白 水 会 報

発行所

大阪市立泉尾工業高等学校内

大阪白水会

〒551-0031

大阪市大正区泉尾5-16-7

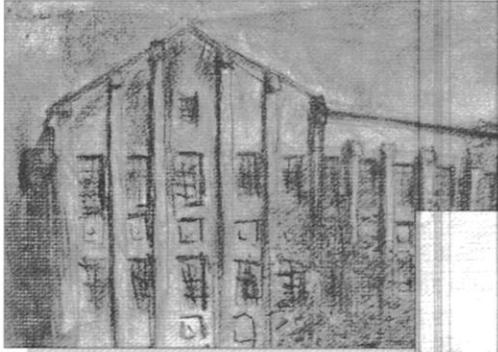
TEL 06-6552-2221代

FAX 06-6554-7612

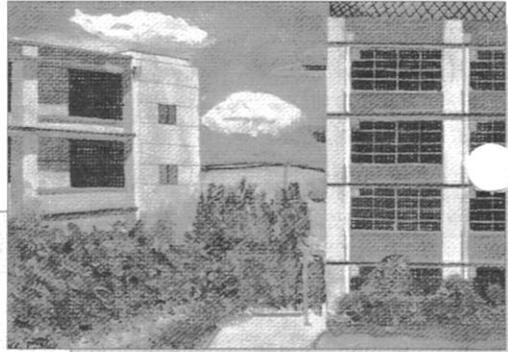
振替 00940-1-82966

発行人 西山 瑞彦

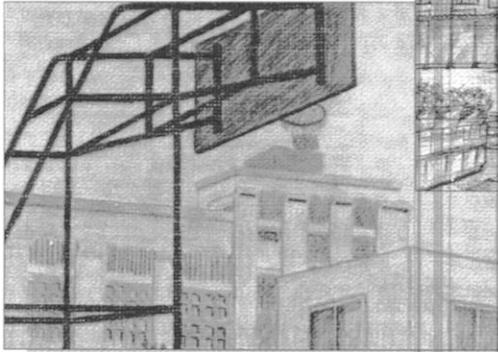
編集責任者 榎本 俊和



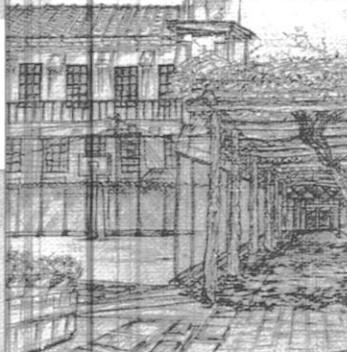
A56卒 浜口 献一郎



E57卒 大和 貞之

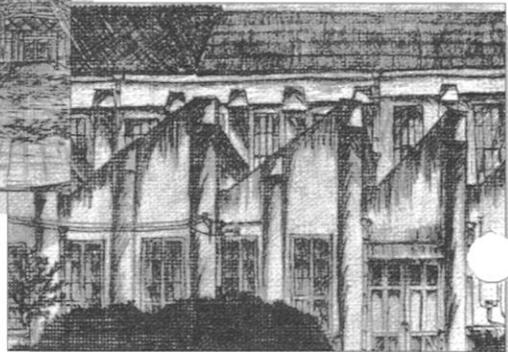


E57卒 羽瀬 博之



M54卒
渡部 真也

旧校舎・実習棟のスケッチ



D54卒 衛藤三千代

創立八十周年を祝う

私たちの母校泉尾工業高等学校が創立八十周年を迎える。

八十才といえば、日本人の平均寿命にほぼ相当する。

しかし、学校には始まりはあっても終わりはない。八十年というのは、長い長い行路の一つの通過点でしかない。

と割り切ってしまうと、今までの八十年の歴史はいったい何なのかということになる。

未曾有の戦争体験とその後の学制改革、そして日本経済の高度成長にともなう社会情勢の大幅で急激な変化、母校もそれらの渦に巻き込まれ、大きな試練をくりくり抜けてきた。

私たちは、八十年の歴史のうちの一つたった三、五年しかこの学校に通っただけではあるが、どんな時代であっても真理の探求につとめ、互いの友情をはぐくみ育ててきたのではなかっただろうか。

私たち一人一人の存在が、この学校の歴史を形づくり、伝統を築いてきたのである。

ともにこの学校で学んだ者として、改めてその体験を今後活かすきっかけになることを願って、祝意にかえたい。

<p>平成14年度役員</p> <p>会長 西山 瑞彦氏 (D S M)</p> <p>副会長 榎尾 俊明氏 (C 32)</p> <p>顧問 木内忠五郎氏 (第5代会長 D 3)</p> <p>鎌田 修一氏 (第8代会長 D 13)</p> <p>北嶋 豊氏 (第12代会長 D 20)</p> <p>佐々木 一郎氏 (第13代会長 C 29)</p> <p>山畑阿威磨氏 (第14代会長 A 33)</p> <p>東京支部長 丹羽 富造氏 (A 34)</p> <p>常任理事 榎本 俊和氏 (C 41)</p>	<p>平成13年度事業報告</p> <p>役員・理事会 13年6月8日 (金)</p> <p>会報発行 於・やすらぎ 13年7月1日</p> <p>東京支部総会 13年7月6日 (金)</p> <p>総 会 於・九段会館 13年7月13日 (金)</p> <p>母校後援事業 於・大成閣 6月13日より6月20日</p> <p>全国大会参加部への後援 (柔道、ボウリング)</p> <p>教育後援会を通じての財政援助 (10万円/年)</p> <p>常任理事会 随時</p>	<p>平成14年度事業計画案</p> <p>役員・理事会 14年4月19日 (金)</p> <p>会報発行 於・やすらぎ 14年7月1日</p> <p>東京支部総会 14年7月5日 (金)</p> <p>総 会 於・九段会館 14年7月19日 (金)</p> <p>母校後援事業 於・大成閣 卒業生を囲む会</p> <p>教育後援会を通じての財政援助 (10万円/年)</p> <p>母校後援事業 (6月3日より6月25日)</p> <p>学校80周年記念事業の後援</p> <p>学校祭(文化祭・体育祭)への援助</p> <p>記念品 記念品</p> <p>祝賀会の開催</p> <p>常任理事会 随時</p>
--	---	--

平成13年度 大阪白水会決算書

<一般会計>

平成14年4月30日

収入総額	3,840,583円
支出総額	3,562,572円
差引額	278,011円 …次年度へ繰越

収入の部		
項目	予算額	決算額
会費	1,250,000	1,524,400
会納金	1,560,000	1,602,000
雑収入	244,840	374,023
前年度繰越金	340,160	340,160
合計	3,395,000	3,840,583

支出の部

項目	予算額	決算額
会報発行費	2,100,000	1,947,047
総会費	280,000	279,731
新入会費	170,000	150,150
退職記念品	202,000	201,000
会議費	180,000	194,880
教育後援会分担金	100,000	100,000
出張費	150,000	150,000
事務・通信費	110,000	128,962
雑立金	103,000	110,802
合計	3,395,000	3,562,572

監査の結果 正確であることを認めます

平成14年4月30日

会計監査 村田 進治 ㊟

会計監査 竹口 政弘 ㊟

<積立金会計>

平成14年4月30日

収入総額	2,831,048円
支出総額	150,000円
差引額	2,681,048円 …次年度へ繰越

収入の部	
項目	金額
前年度繰越金	2,530,822円
一般会計からの積立金	300,000円
預金利息	226円
合計	2,831,048円

支出の部	
項目	金額
母校への部活動奨励金	150,000円
合計	150,000円

<教育基金>

項目	金額
前年度からの繰越金	3,412,007円
利息など	167,320円
合計	3,579,327円

平成14年度 大阪白水会予算案

<一般会計>

収入総額	3,120,000円
支出総額	3,120,000円
差引額	0円

収入の部		
項目	予算額	
会費	1,150,000	
会納金	1,500,000	
雑収入	191,989	
前年度繰越金	278,011	
合計	3,120,000	

支出の部

項目	予算額
会報発行費	2,000,000
総会費	280,000
新入会費	160,000
退職記念品	75,000
会議費	120,000
教育後援会分担金	100,000
出張費	150,000
事務・通信費	130,000
雑費	105,000
合計	3,120,000

<積立金会計>

収入総額	2,681,250円
支出総額	0円
差引額	2,681,250円

収入の部

項目	金額
前年度繰越金	2,681,048円
預金利息	202円
合計	2,681,250円

<教育基金>

項目	金額
前年度繰越金	3,579,327円
預金利息	673円
合計	3,580,000円

創立八十周年に思う

高橋 正一

(第七代校長)

みどり濃き七月を迎え、皆様にはいよいよ御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年泉尾工業高校が創立八十周年を迎えることになりました。本校の歴史にとって意義深く、これまで目覚ましい発展に多大のご尽力を賜わりました多くの先輩の先生方、また白水会の会員の皆様方に深く敬意を捧げますとともに衷心より感謝申し上げます。

本校の創設に当っては、初代校長野田忠蔵先生を大阪市長自らが天保山棧橋に出迎えられ、優れた有能な教職員を招聘し、職業教育に必須の実験・実習設備等は格段に高度なものが設置されたと伝え聞いております。

当時の社会情勢から見て、如何に重大な期待が寄せられていたか私ども

の想像以上)のであったと思われず。

明治・大正時代から繊維工業の勃興に端を発して広く進展して止まない大阪の工業界が大工業都市を築き、国家の発展に多大の貢献をしてきました。この間重責を担い努力された先輩の方々の業績を偲び、その功績を称えたいと存じます。

学校創設時は小学校卒の幼い生徒に五年間行なう甲種工業学校で、校訓にもあるように、学問・技術もさることながら、誠実な人間教育に力を入れてこられました。

戦時中は修業年限を短縮することや勤労作業に従事することがあり、一時期は学校は教育の機能を失うこともありましたが、学制改革により昭和二十三年より修業年限三年の現在の新制高等学校になりました。戦後、我が国の復興には何よりも工業の振興が必要であると、社会から強く、工

業教育を推進するよう求められておりました。相当劣悪な状態の施設設備の中でも関係教職員の研究開発と温い情熱に加え、力強い生徒の活動が見られ、文武両道に秀でた学校生活が見られました。

戦前から骨のある剣道、柔道、バレー、野球、テニス等、大阪府下でも優勝歴が多く、活力ある部活動は社会からも熱い応援が寄せられました。

相撲場の道場開きには、人気力士の若秩父を招くようなこともありました。当時の指導者の熱意と、生徒の溢れる意気込みに

応えて、大きな体育館兼講堂が、P・T・Aの御支援によって建設され、また他校にはないプールも設置されました。その施設は校舎改築で今はありませんが、P・T・Aの方々の多くの物心両面にわたる御協力に深く感謝をいたしております。

また(術)が開発され、工業技術の内容も大きく変化してきました。このため新技術者の養成が重要視され、また多数の中堅技術者の不足することから国民所得増進計画に示されて、工業教育は時代の脚光を浴びるようになりました。

この時期、戦後のベビーブームによって高校への進学率も上昇して、全国的に工業高校が増設されました。化学系統を主とする本校にも昭和三十一年度電気科が設置されました。

幸と申しますか、この電気科の校舎建設に伴い機械科から順次、他の学科の校舎および一般校舎の改築が進められました。昭和二十五年のジェーン台風の大被害を受けてから長い間不十分な施設に忍従していましたが、校舎改築への足がかりが出来たと二重の喜びにひたりました。

まさしく、産業構造や就業構造も変化しており、指導には教職員の随分の苦勞がありました。

電算機が設置されるとその利用方法とか、各学科の実験・実習にも新しい考案が続々と実施に移されておりました。

しかし年々国民の生活の向上に伴い、高校、大学への進学者が増加し、早く職場での勤労する気風が欠けてきて、職業高校への進路指導の不足もあって、受け入れる生徒の多様化が見られるようになりしました。

長年築き開発してきた素晴らしい数々の技術・技能が将来継承されないのではないかと心配いたしております。専門性を維持し、また深化された皆様の尊い経験を生かして頂き、工業立国にふさわしい人材の育成に力を貸して頂く機会が無いものだろうかなど考えておるところでございます。

(昭和48年4月、54年3月在任)

八十周年記念事業に「ご協力」

本年十月二十日に、母校大阪
市立泉尾工業高等学校は創立八
十周年を迎えることになりま
す。

全国的にも特異な化学系の工
業学校として隆盛を誇ったので
ありますが、太平洋戦争とその
後の混乱に加え、それをほむ
数次にわたる水害の結果、学校
内外が荒廃するという苦い経験
を経て、今日を迎えました。

戦後の学制改革により、工業
高等学校として再発足すること
になってからも、「誠実、創意」
をモットーに、その伝統を受け
継ぎ発展させる努力が続けられ
てまいりました。

しかし、技術革新の進展と経
済、社会情勢のめまぐるしい変
化の中で、工業高等学校の位置
づけがさまざまに議論されてく

るようになりました。

八十周年という節目の年にあ
たり、改めて母校に目を向けて
いただき、そのあるべき姿にむ
けて英知を結集していただきた
いものと考えます。

ところで、母校においては創
立八十周年を記念して次のよう
な計画を取りまとめ、その実現
に向けての作業が進められてお
ります。

- 記念式典（十月十九日）
- 八十周年記念学校祭（体育祭、
文化祭）の開催
- 記念演奏会の開催（大阪市消
防音楽隊）
- 記念講演会の開催（宇宙開発
事業団参事 春山幸男氏）

大阪白水会としては、母
校のこのような取り組みを積極
的に支援すると共に、独自に八
十周年を記念し、左記のよう

事業・行事を計画し、推進をは
かっております。

- 八十周年記念大阪白水会誌の
発行（別記）
- 在校生の自主的活動をさらに
推進するための事業
- 記念祝賀会の開催（別記）
- 記念品の作成

その他、泉工資料展（仮称）
を本年の文化祭の折に開催し、
戦前からの各種資料を広く公開
することを企画いたしております。

祝賀会

八十周年記念祝賀会は、大阪
白水会を中心になって式典終了
後、母校の発展にご協力いた
いておられる方々に呼びかけ
て、大阪駅前のホテルグランビ
ア大阪19階において開催を予定
しております。

八十周年記念 白水会誌の発行

母校では、八十周年記念誌を
発行する準備を進めておりま
す。これとは別に賛助広告を含
めた記念誌を大阪白水会として
式典当日に発行いたします。

当日のご出席者には、芸術院
会員・村上三島氏（A6卒）揮
毫による創立八十周年記念の日
本手拭を記念品として配布する
よう松田利三氏（D7卒）に準
備していただいております。日
本手拭ではございますが、額装
できるよう特に配慮いただい
ております。

誌には、賛助広告の他に卒業生
などからの在学中の様子や卒業
後の活躍の跡を記録するよう
内容の寄稿文を併せて掲載し、
トータルで泉尾工業卒業生の様
子がわかるようにと企画いた
しました。

さらに卒業生のユニークな活
動を広く紹介することにより、
卒業生はもとより在校生の励み
になり、あわせて泉尾工高のP
Rに一役買えるようなものをと
考えております。

さまざまなイベントの 企画しませんか

この機会に、クラブ、ケ
ラスあるいは同期生単位と
か有志で、母校の存在を社
会的にPRしたり、相互の
交流を深めるような催し
（イベント）を企画いたしま
せんか。

例えば、OBと現役との
対抗戦とか、文化関係クラ
ブにおける合同作品展とい
うように。

楽しい企画を、お待ちし
ております。
卒業生各位の熱意でもつ
て、母校創立八十周年を有
意義ならしめんことを願っ
てやみません。

募金活動の状況

昨年七月より開始いたしまし
た八十周年記念募金は、5月31
日現在で、三四〇件、二四七万
余円の応募をいただきました。

これは、趣意書を発送した会員
の約三%にあたります。5月31
日までにご応募いただきました
方のご芳名は次ページに掲載さ
せていただきました。

協賛募金は、一口五千円とな
っておりますが、これにこだわ
らずにご応募下さい（郵送また
はご持参いただいたも結構で
す）。より多数の方々のご応募
が、母校への励ましとなります。
クラス、クラブ、職場単位で、
今一度お話し下さいませよ
う、お願い申し上げます。

また、協賛募金とは別に記念
白水会誌への賛助広告を卒業生
が経営または在職しておられる
企業にお願いいたしております
が、6月11日現在11件のご応募
をいただいております。
あわせてお礼（）上げます。

母校創立八十周年記念募金中間報告

（平成14年5月31日現在）

	件数	金額
職員	22	190,000
F	2	15,000
S	37	297,000
D	55	355,000
C	42	305,000
A	102	757,000
M	61	460,000
E	17	90,000
企業	3	20,000
計	341	2,489,000

母校創立八十周年記念募金中間報告

(平成14年5月31日までの応募分)

(敬称略)

●ファッション工学科

- 一〇、〇〇〇円 平14川上絵利菜
五、〇〇〇円 平13山中 美穂

●紡織・繊維工業科

- 二〇、〇〇〇円 神崎 長平
二〇、〇〇〇円 服部 貞次郎

●色染・色染工業科

- 一〇、〇〇〇円 福本 長五郎
一〇、〇〇〇円 鎌田 修一

- 4 五、〇〇〇円 氏部 一美
35 33 30 21 20 15 13 7
7 45 34 32 29 21 16 13 10
佐藤 明
32 30 27 25 17 16 16 15
口下 繁雄
32 31 28 25 21 17 16 16
森田 裕司

●薬業・セラミックス科

- 三〇、〇〇〇円 坂本 義雄
二五、〇〇〇円 田村 信三

- 45 39 34 32 山本 洋児
34 33 33 久保井 勇治
32 31 30 29 28 27 26 24 20 20 16 15 14 12 12 11
藤原 淳治
32 32 31 30 29 28 28 27 27 24 23 20 18 15 14 13 12 12
古本 隆一
46 45 40 39 38 37 36 35 35 34 34 32 28 25 20 18 15
植西 輝吉
46 45 40 39 38 37 37 35 35 34 34 33 31 26 25 20
香山 登

●応用化学・工業化学科

- 三〇、〇〇〇円 安田 育雄
二五、〇〇〇円 川北 順一
二〇、〇〇〇円 中川 市造

●化学機械・機械科

- 三〇、〇〇〇円 西山 瑞彦
二〇、〇〇〇円 正田 輝弘

- 46 46 45 40 39 38 37 37 35 35 34 34 33 31 26 25 20
香山 登
46 45 40 39 38 37 37 35 35 34 34 33 31 26 25 20
香山 登
46 45 40 39 38 37 37 35 35 34 34 33 31 26 25 20
香山 登

●電気科

- 四一、〇〇〇円 田中 啓治
五〇、〇〇〇円 森田 哲行

●現・出職員

- 二〇、〇〇〇円 長野 忠雄
二〇、〇〇〇円 鈴木 明光

●企業
間機設工業科

- 一〇、〇〇〇円 間機設工業科
五〇、〇〇〇円 内外カーボンインキ株式会社
大阪送風機製作所

大阪白水会の社団法人化について(報告)

— 設立は極めて困難 —

元校長 濱中 富二 (A28)

母校が今秋、創立八十周年を迎えることは誠によろこばしい限りである。

十年前、古稀を寿ぐための準備の会で「創立八十周年記念に、我が同窓会が『社団法人・大阪白水会』として認可されていたら、またとない記念となる」と声があがり、創立七十周年記念事業の一環として取り組みを始めた。

以下に調査・研究・検討の経過を報告し、社団法人化が極めて困難であることをご理解頂きたい。

●私立高等学校

- ① プール学院高等学校 社団法人・プール学院同窓会
- 昭三・四・四 認可

- (二) 財団法人として認可されている同窓会

●公立高等学校

- ① 府立山本高等学校 財団法人・大阪府立山本高等学校同窓会
- 昭一九・六・一七 認可

●私立高等学校なし

一、趣意書の作成(略)

二、府下高等学校同窓会の法人認可状態

- (一) 社団法人として認可されている同窓会

●公立高等学校

- ① 市立都島工業高等学校 社団法人・浪速工業会
- 昭九・一・二四 認可
- ② 府立清水谷高等学校 社団法人・清友会
- 昭九・八・三 認可

高度な文化事業の提示。(複数年分)

- ② 社団法人としてのビジョンの提示。
- ③ 基金として三千万円の用意。

- ④ 法人運営費として構成メンバーから一定額の社費納入が見込めること。

- ⑤ 過去の事業(実績)が親睦会・互助会、会員相互の研修会等の事業でないこと。

- ⑥ 税制面の優遇措置は、実施する事業の性質によって左右されるので、一律に構成メンバーによる寄付行為が税の控除対象になるとは限らないことに留意。

- ⑦ 監督官庁(大阪府)の監査は厳重であること。
- ⑧ 運営事務は極めて複雑であること。

- ⑨ 既存の社団法人の整理を考えている段階なのに、新しい認可は全く視野にない。

- 四、右のことから考えられること。
- 三の必須条件等のうち、
- ①②については、かなり作

文的要素を含むとしても立案は可能であろう。③は現在も近い将来に於いてもこの額の基金の確保は実現性はない。④は、「一定額」がはつきりしないが、現在の会費納入が常に流動的なことからかなり無理がある。⑥について、文化事業ごとに寄金を募ることは不可能である。周年記念等に対する寄付金は税の控除対象にならないから、税制面でのメリットは希薄である。⑦は極めて厳密と考えられるから、それに耐えられるか。⑧は⑦と関連して考えなければならぬ。専従者を従事させなければならぬであろう。その場合、人件費の負担はどうするか。⑨は極めて強硬であり、現存法人の整理のため、法整備を進めている現状である。

大阪白水会の社団法人化に大きな期待を寄せられ、元東京支部長・大道邦雄氏(昭一八・A)をはじめ、浄財を寄せられた多くの同窓の諸氏に厚く御礼申し上げると共に、その基金になるべしであった浄財は、現在、大阪白水会教育基金として有為なる使途のために温存されていることを付記し、併せて、故横山幸男氏(昭一七・A元会長)ご長男・幸一郎氏(現横山司法書士事務所長)には法人化に関し、専門の立場からいろいろのご助言・ご助力を頂いたことに感謝申し上げて報告を了としたい。

幾度びも顔を出し、同じような質問や説明にも嫌な顔一つ見せず懇切丁寧にご指導・ご助言を頂いた府庁関係部局の方々に厚く感謝の意を表す。

以上の如く、社団法人化への途は極めて困難であり、その計画は断念せざるを得ないと考える。この事は、必要基金の確保はともかくとして、文化勲章受章の村上三島氏(昭六A)を頂点とする多士齊々たる構成メンバーや組織・運営手腕に起因するも

右のことから考えられること。三の必須条件等のうち、①②については、かなり作

退職のご挨拶

夏村 岑生



白水会の会員の皆様には
益々お元気で各業界でご活躍のこととお慶び申し上げます。

本年三月末日をもちまして
泉尾工業高等学校を定年退職いたしました。

昭和五十九年四月、大阪市立情報処理教育センターより本校に赴任し、十八年間電気科をはじめ、いろいろな部署でお世話になり、大過なく定年退職を迎えることができましたのも教職員の皆様ならびに卒業生の皆様のご指導、ご鞭達のためものと深く感謝いたしております。厚くお礼を申し上げます。

本校へは昭和五十九年に

着任したのですが、その二十年前に札幌から出て来て、住吉区の加賀屋寮に泊まらず、泉工の旧本館にあった保健室にお世話になったことを思い出します。

その後校舎等の増改築、実習設備の整備導入等があり、充実した環境のもとに赴任させていただきました。

体育祭・文化祭・修学旅行・耐寒歩行等、毎年のことでありながらひとつひとつ思い出され感が深いものがあります。

世の中の変化にともない、生徒の気質もいろいろと変化してきているようですが、若さと可能性をもつ生徒達と共に話し合い、遊んだり勉強したり共通の時間を持てましたことは本当に幸せであったと思っています。

平成13年度 白水会総会盛大に開催

昨7月13日、心斎橋の「大成閣」において平成13年度の総会が多数の会員諸氏並びに新旧学校職員が集まって開催されました。

若い卒業生の参加も目立ち、多彩な顔ぶれにより、どのテーブルも時のたつのを忘れる程でした。

九時半近くに、次回の再会を約してそれぞれ会場をあとにしました。

今年、母校創立八十周年

年記念総会として二四ページに掲載されていますように7月19日に、同じ「大成閣」で開催されます。同級生、同じクラブの仲間達を、お誘いいただきまして、多数ご参加下さい。

同じ会社に勤める卒業生同士が声をかけあって、仕事の帰りに立ちよるのも、ちよつとオツなものかと思えます。

思わぬ人と顔を合わすことになるかも知れません。

非常勤特別嘱託として本校でしばらく勤務させて頂き、皆様にお会いできる機会もあることかと楽しみにしております。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸ならびに白水会と本校の益々のご発展をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

白水会と本校の益々のご発展をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



写真



株式会社 水原フォトグラフ

☎543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目1番5号
TEL(06)6771-2068(代)
6771-2025



学校卒業
アルバム制作



益田建設株式会社

一級建築士事務所

代表取締役 益田 治 (C37卒)

☎554-0013 大阪市此花区梅香2丁目2番17号
TEL (06) 6461-5212

ファッション工学科だより

卒業生の皆様お元気にご活躍のことと思います。平素は母校のために何かとご支援ご協力を賜わり誠にありがとうございます。

ファッション工学科の前身である紡織科、色染科が大正11年に学校創立と同時に発足して今年80周年を迎えます。ファッション工学科職員

は桑原(一年担任)、田中(一年副担任)、佐々木(二年担任)、白戸(二年副担任)、松田(三年担任)、高井(三年担任)、山本(三年副担任)、大石(教務)、松島(進路)、木原、木下、山戸(生指)、正埜、中野の以上14名で皆元気で頑張っています。

生徒在籍者数は一年80名(内男14)、二年82名(内男6)、三年68名(内男7)です。今春は63名(内男5)が卒業し、就職15名、進学37名(大学4、短大9、専門学校21、その他進学3)、未決11名となっています。最近の就職難は非常に深刻で、特に女子の就職先が少なくて少ないこともあり進学の割合がここ数年増加傾向にあります。昨年度は夢サポート事業の一環として、外部講師を招聘

して各学年特別授業とか島精機製作所(株)、川島織物(株)のCAD研修、テキスタイルデザイン研修や産業界教育フェアでのファッションショー発表など積極的に外部との連携を深めました。先日春の校外学習を羽曳野

セラミック科だより

セラミック科の職員は今年も人事異動がなく、七名で平穩に、セラミック科を支えており、前川(一年担任)、藤岡(一年副担任)、同和教育委員長)、池中(二年担任)、西(数学科三年担任)、榎本(三年副担任)、木島

(生活指導課出向)、大澤(科長)、退職された岩崎先生もクラブ指導等で登校されることもあり、皆元気に頑張っております。今年の在籍数は、二年生28名、二年生29名、一年生41名とここ数年卒業時に30名以下という状況が続いております。今春は男子11名、女子17名、計28名が卒業し、その内就職10名、進学7名、と女子の求人が少なく就職活動も大変難しく、不況の中今年より厳しいこ

市古市で行いました。一、三年生の応援団員を中心に新生一年生との交流を深め、5月16日の体育祭に向けて生徒達は頑張りました。最後にSDF会員の皆様の「健康とご活躍をお祈り申し上げます」。

とが予想されます。本人の希望通り進路が確保できるような企業訪問等考えておりますので、その折にはお世話になります。がよろしくお願い致します。学習の方では、今年より週五日制となり、専門科目として

「セラミック材料(窯業原料)」がなくなり、他教科でも単位数の減少で土、日、連休の「ゆとり教育」が問われています。その試みとしてセラミック科全生徒を信楽焼の体験学習や宙吹きガラス作家の特別講習会等を計画しております。社会情勢の変動も激しいですが学校も大変変わってきています。泉寮会の皆様、機会をみて近況を話しに来校して下さい。お待ちしております。

工業化学科だより

平成十三年度の工業化学科卒業生は五十三名で、それぞれ進学や企業に旅立ちました。諸先輩のご活躍に続けと意欲的な生徒たちがそれぞれの場所でお世話になると思います。今年度末に教員一名の移動がありました。十五年勤務された井上満徳先生が市立都島第二工業高等学校へ理科の先生として転出されました。代わりに市立東淀工業高等学校の理工学科から宮西徳和先生が来られました。

教職員の平均年齢は若干高くなりましたが、その分経験年数が豊富になり、より質の高い授業や実習が展開できると思っています。最近の傾向としまして、女子学生の比率が増えてきました(現在二年生で十名・三年生で七名)が、本年度入学の一年生の女子はわずかに二名だけで教室の雰囲気は数年前に戻ったように思えます。

景気低迷で求人票の数も以前と比べて激減してしまいました。特に女子の就職に関しては、今年も新聞等に報道されている通り悲観的な状況です。ぜひご協力をお願いします。

したいと思えます。工業科学科の設備も毎年少しずつ新しくなっており、昨年度も大きな人工気象器が入りました。また、職員室の配置も今年度初めに大変更改しましたので、職員室にいられたらびっくりすると思います。



◆印 各種建築家具金物製造卸

株式会社 浜 国

本社 ☎578-0962 東大阪市鴻池1672-1
TEL(06)6746-1921(代)
FAX(06)6746-7878

札幌支店 ☎003-0835 札幌市白石区北郷5条6丁目3-5
TEL(011)872-2772
FAX(011)872-2749

機械科だより

機械科卒業の皆様方、お元氣でお過ごしでしょうか。
 今春は56名の卒業生が皆様方の仲間入りをし、それぞれの進路先で泉工機械科卒として頑張ってくれるものと信じております。

又、先輩の皆様方の職場にお世話になった卒業生もいるかと思いますが、どうかよろしくご指導下さいます様お願いします。

機械科職員は、久しぶりに異動がなく昨年と同じ15名でのスタートとなりました。各種検定や資格試験、そして一昨年労働局に指定講習機関として認定されたガス溶接技能講習等に対し全員で取り組み、協力しあい、より良い成果をあげています。

特にガス溶接技能講習は、他の指定講習機関では、六、七千円必要であるのに対し、テキスト代程度で済み、しかも一生使える資格として生徒にも大変喜ばれています。

今後も、機械科職員一致団結し、より良い教育を目指し頑張つて行きます。

今、工場の中では、5月16日の体育祭へ向け応援・背景

の準備が進められています。

背景は、ねぶたやだんじりなど日本の祭を四画面、白黒の塗料だけを使用し、切絵調に描いたもの。桜の新芽から満開、そして新緑までを三画面に描きそれを順次変化させる、大変すばらしい構想で三年生を中心に全学年にて頑張つて来ています。

応援は、先輩方より引継れてきています硬派の演技に、笑いを誘い、可愛い仕草の軟さも取り入れ、背景と共に連覇へ向け連日練習に励んでいます。

最後になりましたが、本年度創立八十周年記念として白水会より体育祭関係に多大なご支援を頂き、誠に有難うございました。

お礼と共に、皆様方のご健勝・ご発展をお祈り申し上げます。



電気科だより

卒業生の皆様、お元氣にご活躍のことと思います。

平素は母校のために何かとご支援ご協力を賜わり、誠にありがとうございます。

今年電気科では、夏村岑生先生が退職されました。夏村先生は昭和59年より18年間本校に在職され、白水会を含めて色々とご尽力賜りました。

この4月より、大谷正典先生をお迎えしました。電気科に新しい風を吹き込み、生徒指導に熱心に活躍されています。

先日、春の校外学習を奈良公園で行いました。2・3年生の応援団員を中心に、新1年生との交流を深め、5月16日に予定されている体育祭に向けて、校歌・応援歌の指導を含め、十分な効果を上げました。

また、第2種電気工事士筆記試験が6月9日に行われます。

2年生を中心に、授業中・放課後等、合格をめざして勉学にいそんでいます。

新しい実習装置「高電圧試験装置」が入りました。これは電気科創設以来の古い型に

代わつて、コンピュータ制御によるもので、最新の実習ができる、ますます学習成果が上がるものと期待しています。

今年も7月19日(金)に開催されます大阪白水会総会時に紫電会総会を開きます。同輩の方々お揃いで多数ご参加下さるようお願いいたします。

最後に紫電会の皆様のご健康と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

母校近景

本館からグラウンドに出る角地にある泰山木もすっかり大きくなり、五月から六月にかけて白い花を咲かせ、花木の少ない校庭に文字通り花を添えております。

昭和63(一九八八)年卒業生の卒業記念樹です。グラウンドでの生徒の活動を、じつと見守つてくれております。



染料・顔料・工業薬品

平岡染料店

平岡利隆(D31卒)

☎543-0044 大阪市天王寺区国分町18-11
 TEL (06) 6771-7426
 FAX (06) 6779-7794

社会人一年生

新入会員から在校生へ

出会いを大切に

F平14卒 白川未稀

私は今、近鉄百貨店の受付とエレベーターガールをしています。

早く一人前になれる様、勉強の毎日です。学生時代は勉強なんてほとんどした事がなかったで、生きて来た中で一番勉強していると思います。

この生活に耐えて行けるのは応援団等で身に付けた忍耐力のおかげです。配属先が決まるまでは、一週間東生駒での研修がありました。毎日早起きして通うのが大変でしたが、そこには京都や三重から通う人もいて、「社会に出るって大変だなあ。」と痛感しました。学生と社会人とは本当に色々な事が大きく異なります。

今となれば高校時代が本当に楽しかったです。色々な友達や先生や人との出会いのおかげで今の私があるのだと思います。

しかし、社会に出る事が辛い事はかりではありません。新しい出会い、勉強、色々な経験。毎日があつという間に過ぎて行きます。

三年生のみなさんには毎日大切に過ごしてほしいです。

そして、何事にも真剣に取り組んでほしいです。私は社会に出たばかりで、半人前にも及びませんが、一生懸命頑張っています。

正直、学生時代は一生懸命になるのが恥ずかしいと思う時期もありました。何故かは解りませんがカッコをつけていたのだと思います。それを経て、今、一生懸命になれる何かがあるという事はとても大切であり、幸せな事だと思える様になりました。

高校生という自由な時に、たくさん遊び、色々な経験をさせて下さい。そして思い出をたくさん作って、出会いを大切に、ネットワークを広げて下さい。それがきつと、これからの自分の支えになると思います。

進路の事などで悩みも絶えないと思いますが、悩んで悩んで頑張ってください。私もこれから一日一日大切に、日々精進して行きたいです。全力投球で頑張ります。

社会人になって

A平14卒 深澤 夢美

私が就職した先は、工業化学科三年間で学んだことを生かせる研究部所のある会社です。かなり知識と考える力が必要なので、入社したての知識の浅い私は、毎日勉強づくしです。時々、しんどくて辛い時とか、辞めたいなああってすぐ弱音をはいたりして、現実から逃げてしまう時もあるけど、先輩や上司の人から助言をもらったり励ましてもらったりして頑張っています。

でも、「すぐ弱音をはいく」というのはまだ私に社会人として

一日を大切に



社会人になって、はや一ヶ月が経ちました。私が、就職した会社は幸大硝子という所で、主に化粧品の瓶を作ったりしています。私が配属された所は品質管理と言って、機械で作った瓶に不良品が無いか判定をする仕事です。最初

何をやるにしても責任ある行動が大切だと、私は思いました。もちろん礼儀もです。

けれど、すぐに自覚をもつ、理解する、責任ある行動なんてできないと思うので、あつ少しの学校生活の間にでも、徐々に考え方や気持ちを変えていったら、就職した時、苦悩する事が多少なくなると思っています。

来春、就職される三年生のみなさん、この事が何かの役に立てればいいと思つています。残り少ない学校生活を充実したものにできるように、これから大変だと思つていますが、頑張ってください。

O平14卒 竹田 和恵

はすごい楽な仕事と気を抜いていたんですが、不良品の欠点名称というものを覚えなとだめで、しかも一週間で全てを暗記との言葉が出されたのです。その数も200以上とバカにならない数でした。何とか一生懸命頑張つて、全てじゃないけど半数以上覚えられた様になりました。でも、自分で不良瓶などを見つけれとすごい嬉しいものがあります。今、毎日充実して

いてすごく楽しいです。職場には、あまり若い人が居てなくておじさんばかりですけど、娘の様にかわいがつてくれます。私が社会に出て思つた事それは、「ちゃんと敬語が話せるか」これは、私が最も苦労した事です。当然周りは自分より遥かに上の人ばつかなので接し方がすごい難しいです。印象もやっばり変わつたりするので言葉遣いには、気をつけた方がいいです。

ここで、私事なのですが卒業して制服の子達を見るたび「戻りたい」と常に思います。だから、あえて在校生のみな

さんに今言う事は、「高校生活を悔いの残らない様に楽しく過ごす。勉強も卒業してから「あん時ちゃんとしとけば」と思うようにもなりません。すごく高校に未練たらたらな私ですが、社会人として気持ちを切り替えさらに頑張っていきたいと思います。それでは、在校生のみなさん、卒業した時、この3年間は充実していたなあ、良かったなと思えるように頑張ってください。今を大切に」

口約束に注意しましょう

M平14卒 鶴永昭二

僕は知人の会社に縁故で就職する予定でした。でも口約束だけだったので、正式に決定している訳ではなく、結局その話はなくなってしまいました。その後、アルバイトをしながら職安で仕事を探し、やっとなつ目の会社を受験しました。そこでは社長と直接一時間も面接したのに、結果は一週間待たされて不採用でした。その日、思い立ってポストを見てみると、中に僕あての封筒が入っていました。封筒の厚さから、僕は気づきました。中を見た瞬間、心の中で「おかえり」とささやきました。それは先の会社に提出した僕の履歴書だったのです。まるでキヤッチ&リリース、ブラックバスの様な履歴書でした。

次の、は合格しました。口約束だけの就職活動で、結局20日間フリーターをしてしまい、友達より3週間遅れでの社会人としてのスタートでした。だから、在校生のみなさんも縁故就職する時は、しっかりと書類で約束して下さい。僕の友達も縁故で就職する予定でしたが、今もまだ正式に決まっていません。

将来のための時間

E平14卒 西端幸一郎

入社当時は、研修期間がありました。研修期間が短いかわからず、その日その日があつと言う間に過ぎ去り、始めは不安がよくつづりました。

しかし、時間がたつと周りの風にも慣れ、大きな不安は小さな不安に変わりました。次第に自分の前向きな性格から、ゆとりができて仕事も自分から進んでできるようになりました。

今、学生の諸君は、これから先のことを考えている人もいればまだ先のことば考えない、今を楽しく過ごせばそれでいいと考える人もいます。

私は、学生時代ただただ資格を多くとることにガムシヤラになっていました。資格を得ることで自分の将来の視野が広がると考えていたからです。私は少しでも自分の将来に役立てばとの思いで、生徒会に入り、会長を一年つとめました。と、まあこんな感じでした。学生生活を楽しんでいました。

自由に見える時間の中に自分の将来のために、という時間を少し作るだけでいくらかも自分を高め、未来への可能性を広げられる、と言うことを言っておきたい。仕事をしたいなら自分の好きなことをしなさいと考えるのはあたり前、あたり前だけに、努力なしには難しいということもあたり前。厳しい現実があるからこそ、小さな喜びに

思われることも幸せに思えるのです。仕事をやる以上、必ず誰かの役に立っています。辛い仕事でも続けられるのは、自分の頑張りで、どれほどの人の役に立っているか、どれほどの人に喜んでもらえるか等が頭をよぎるからです。

今、未来を見つめずいる人も生きていく以上必ず通る通過点なので、この文章を読んで少しでも「あーそうか、こんな考えもあるんだ。」と思ってくれたなら、少しゆとりをもつてこれからのことを考えるのも良いと思います。

不景気の中ですが頑張つて、学生生活を過ごし、少しでも人の役に立てる様努力し、未来を自分の力で明るくしていくて下さい。



この不況の中、私は近畿日本鉄道株式会社という大企業に就職させて頂きました。この会社は、担任の先生に先ず勧められ、自分でも検討し決めたところです。私は電気科卒として、様々な知識を身につけてきたもので、自分に対して技術職というものはあつていると考えたためです。入社してから約二ヶ月経ち、今では、仕事も少し覚え、先輩方との関りも楽になりました。

2002年3月卒業生の進路状況

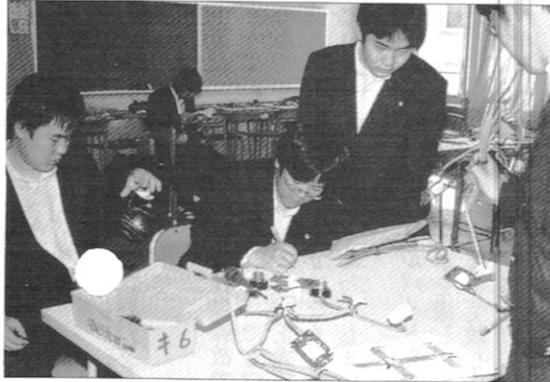
(2002. 3. 31. 現在)

	就 職			進 学	進 学			その他	卒業者数	
	民間企業	公務	縁故自営		小 計	大学	短 大			専 修 等
男子	101	1	20	122	12	7	25	1	46	184
女子	22	0	1	23	5	10	23	0	38	84
合計	123	1	21	145	17	17	49	1	84	268

昨年度の進路状況について
昨年度の進路状況は別表の通りですが、バブル後の長引く不況のため就職は過去最悪の状況です。求人数の減少傾向に歯止めがかからない状態で今年度はさらに厳しくなることが予測されます。
また、進学に関しては指定校などの推薦制度が普及してきた為に進学しやすくなつてきました。
白水会会員の皆様におかれましてはこの苦しい状況をご理解いただき、後輩たちの為により一層のご支援、ご尽力を賜りたいと思っております。よろしくお願致します。

Do your best

泉工フェスティバル



第79回泉工文化祭

昨年11月2日(金)に、文化祭が開催されました。

《Do your best 泉工フェスティバル》と名づけ、各クラス・クラブによって展示やステージ出演が華やかに繰広げられました。

また例年通りスタンプラリーも行われ、展示箇所すべてのスタンプを集めた方に記念品が贈られました。

今年度は《創立80周年記念》行事の一環として11月1日(金)に行われる予定です。ぜひお越しください。参観時は本誌をご持参下さい。第79回の各賞は以下のとおりです。

部門	賞	優秀賞	アイデア賞	アピール賞	努力賞	特別賞
展示	セラミック展 (1C)	電気のおもちゃ箱 (1E2)	電気のおもちゃ箱 (1E2)	陶芸部	童話 (1F1)	トンボ玉製作 科学部
	自動車部	童話 (1A1)	写真部	美術部	kakomon34 (3E2)	
ステージ		選択C 群古典			クッキング部	
	ファッションショー (1F2)	ファッションショー (2F1)	ファッションショー (3F2)	有志 (3A1ほか)		

模擬店



液体窒素実験



3E1



軽音楽部の野外ステージ

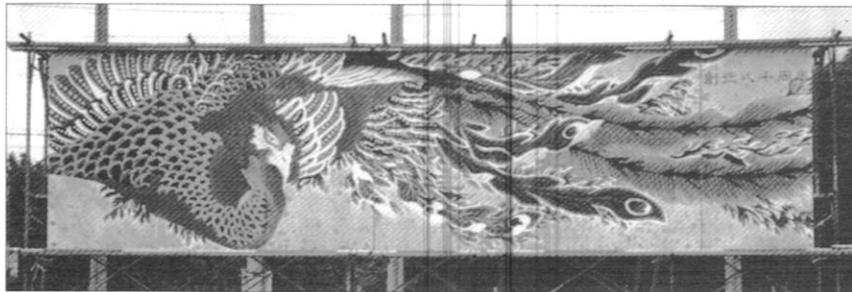
第79回泉工文化祭



3F1

第80回泉工《創立80周年記念》体育祭

今年度の体育祭は、母校の創立80周年記念行事の一つとして行われました。残念ながら天候が不順で、二日に分け、さらに競技の一部を割愛しての体育祭となりましたが、伝統の背景には《創立80周年記念》の文字が入り、また応援合戦は相変わらず盛大に行われ、生徒たちは燃焼しきった様子でした。



優勝したF科の背景

種目	順位	優勝	2位	3位
		総合	M	C
競技	1年	M2	A1/M1	
	2年	F1	C	M2
	3年	M2	F1	M1
応援		C	F	M
背景		F	M	C/E



M科



A科



C科



E科

運動部の活動

自転車部

ママチャリで練習を始めた
一年前、2年生になった笠谷
君は近畿大会ロードレースで
全国レベルの手応えを肌で感
じるまでに成長してくれまし
た。6月にある近畿大会トラ
ックレースにも出場を決め、
日々精進してくれています。

一年生部員2名は体育祭準
備で練習不足ですが、これか
らはしっかりと走り込みをし
て夏合宿や大阪総体では先輩
のアシストをしてくれるもの
と期待しています。

白水会の皆様にいい報告が
できる様に頑張りますので、
応援の程宜しくお願い致しま
す。

硬式テニス部

泉工テニス部は、平成14年
度に入り、新入部員11名、
二・三年生部員10名で元気に
活動しています。

昨年度の成績は、市立大会
個人戦に於いて三位が最高で、
団体戦は決勝トーナメントに
は進んだものの一回戦敗退と
言う結果に終わりました。

平成14年度は、大阪高等学
校春季大会個人戦で一名が一
次予選から本戦一次に出場し
ましたが、一回戦敗退、団体
戦も予選トーナメント決勝戦
で惜しくも敗退と言う結果に
なりましたが、夏季・秋季大
会に向けて生徒達も元気に活
動しています。

野外活動部

部員の数は現在6人(内女
子1人)で3年前に再度クラ
ブになりました。昨年は全員
一年生だったため、ハイキン
グ程度から始めました。

昨年夏休みの合宿は、二泊
三日で大峰山へ登りました。
みんな始めてづくめでしたが
何とか無事に下山しました。

秋は市立大会に参加し、冬は
勝尾寺から箕面の滝に出るコ
ースを歩きました。
まだまだこれからですが一
歩ずつ足をふみしめて頂上を
目指します。

ボウリング部

昨年度は非常に華やかな一
年でした。特筆すべきは、十
二月に行われた第8回全国高
等学校対抗ボウリング選手権
大会で女子が優勝したこと
です。

メンバーであった工業化学
科の原田香織・西村美紀・井
上美亜の三選手がすばらしい
めざしてがんばります。

柔道部

活躍をしました。また西村さ
んは今年度全日本ナショナル
チームメンバーに選出されま
した。今年度も多くの大会に
参加します。ご声援よろしく
お願いします。

柔道部は、現在29名の部員
が早朝と放課後、休日の練習
に励んでおります。

平成13年度インターハイ
(熊本県)には、M科表原宏和
君が出場しました。3月の全
国高等学校柔道選手権(日本
武道館)に2年連続出場を果
たし、1回戦で鳥取県立倉吉
北高校に初勝利しました。2
回戦は福岡県の大牟田高校と
対戦し惜敗しました。

全国大会出場の際には、白
水会から多分なるお心遣いを
いただきありがとうございます。
また、市立大会では団体優
勝を続けております。今年
はインターハイ団体の初出場を
めざしてがんばります。

硬式野球部

今年も新入部員が入部し、
現在33名の部員で活動してい
ます。

昨年は対戦相手に恵まれず
初戦敗退が続きましたが、チ
ーム力はこの数年では一番い
いと思っています。攻守のバ
ランスのとれたチーム編成で
練習試合でも大きく勝ち越し
ています。

また春季工業大会において
も準々決勝まで勝ち進んでい
ます。是非、優勝を果たして
夏季大会に弾みをつけ臨みた
いと思います。

部員一同、一生懸命練習に
励んで頑張りますので今年も
応援よろしくお願い致します。

男子バレー部

先日行われた部別大会にお
いて、チームは残念ながら、
全敗し、三部へと降格しまし
た。心機一転、この秋の大会
で、もう一度一部への昇格を目
指し、練習に励んでおります。

今年度は顧問の異動があり、
バレー部で長年御指導頂いた、
小西先生が桜宮高校に転勤さ
れました。現在、新任で大学
での専門がバレーの坪田先生
が熱心に指導されております。

今後とも、諸先輩方の御指
導、御声援のほどよろしくお
願い致します。

剣道部

剣道部のOBの皆様、平素
より何かとご支援・ご指導を
頂き、誠に有難うございます。
今年度は、1年生が2名入
部しただけで、少ない人数で
はありますが、10月5日の市
立大会での優勝を目標にして
稽古しております。

月に一度の現役との合同稽
古会にお越し頂ける先輩の顔
ぶれも固定されつつあるので、
創立80周年を迎える母校に竹
刀を片手に是非ご来校頂き、
いい汗を流して下さい。部
員・顧問でお待ちしております。



文化部の活動



クッキング部
 私たちクッキング部は、新たに部員が入り、2年生が3人、1年生が2人の計5人でがんばっています。
 4月始めから数回のミーティングを重ね、第一回の実習も成功に終わりました。これからどんどん、腕前を上げていこうとはりきっています。
 料理の基礎から、お菓子作りまで幅広く学んでいく予定です。

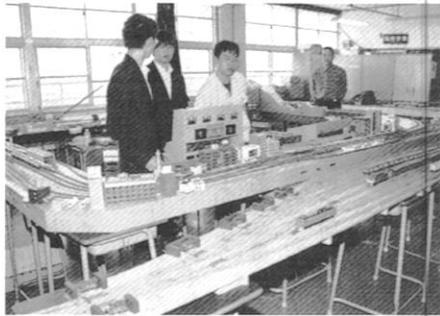
美術部

去年は、市立美術館で開催された全大阪高等学校美術工芸展において、三年、上田佳之君、京谷香織さんの作品が奨励賞を頂き、文化祭では、三年連続アピール賞、ポスターコンクール部門三位の成績を残しました。
 美術部の昨年のテーマ「GROW」をモットーに作品を制作する過程を大切に、個々の個性、そして、技術力を高めながら活動しています。
 夏休みには、油絵・七宝焼壁面に挑戦し、汗を流しながら、作品に取り組みました。
 今年度も、三名の新部員を迎えて、楽しく部活動に励んでいます。

陶芸部

現在部員、3年1名、2年3名、1年1名です。もう少し部員が欲しいところですが、まあのおんぴりと活動しています。

昨年度、現在3年生部長である齊藤君が、第26回全国高等学校総合文化祭、大阪府代表として選出されました。開催地は横浜です。みなさんの応援よろしく願います。
 今年度も、府立・市立芸術祭や産業教育フェア、また文化祭に向けて作品づくりにが



鉄道研究部

今年の文化祭はNゲージとH0ゲージを走行展示しました。
 現在の部員は3年生ばかり5人ですが、Nゲージ用レイアウトの完成度を上げる話しで持ちきりです。レイアウトの山作りに優れた性質の特殊な材料を入手して、従来の山も全面的に作り直しを進めています。
 今年の文化祭では80周年記念列車の運転も予定し、古い製図用紙から自作した車輛が走ります。そしてお客様による体験運転も実施したいと思

自動車

昨年度は朝日新聞社主催の「朝日ソーラーカーレース」高校の部で全国第3位、一般・高校をあわせても総合6位に入賞しました。(写真はその時の出場カーです)。
 また滋賀県主催の耐久レースにも参加し、12時間を無事完走、高校の部で6位という成果を挙げました。数々の賞をいただき全国的にも引けをとらないソーラーカーを製作する事ができたと思っています。その他にもエコデンカーレースにも参加し、タイムトライアルでは第3位入賞でした。今年度も上位入賞を目指し、

プラスチックバンド部

活動再開から丸三年が過ぎました。相変わらずの部員不足、楽器不足に悩みつつ、一昨年度初めて市立高校吹奏楽連盟の一員として御堂筋パレード、市立大会などでドリル演奏を披露することができました。また昨年度はそれに加え、市立高等学校芸術祭にも七校合同という形で参加しました。今後もう少し活動の場を広げていけたらと考えています。ご支援をよろしく願います。なお使わない楽器、譜面立て等ありましたら、ご寄付していただければ幸いです。お気軽に申し上げます。

ソーラーカー・エコデンカーの製作に頑張っています。



☆ナイス製品☆
 マーガリン・ショートニング
 ラード・フライングオイル
 製造・販売

植田製油株式会社

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町17番地
 TEL (078) 451-2361 FAX (078) 412-0991

先生

お元気ですか

泉工での思い出

米田 茂

私が泉工に勤めるようになったのは昭和三十六年九月からです。当時は電気科はなく、現在の敷地の半分で校舎がぎっしり建ち並んで、窮屈な感じでした。

私は化学機械科に籍を置き、次の四月から担任となり、これが学校教育の始まりでした。そして三年間は生徒と苦労を共にして卒業まで漕ぎつけた感じでした。

化学機械科で卒業生を送り出して次は繊維工業科に移り、ここでは早速一年生の担任でした。ここでも三年間無事過ぎして昭和四十五年卒業させました。昭和五十年卒も同様、昭和五十五年卒も同様です。昭和六十年卒の生徒は副担任として増成先生を援助しました。

クラブ活動は硬式野球部で、団野先生と一緒に指導に当たりました。

ある時優勝戦が間近なとき、団野先生が広島病院に入院

するようになり、その間野球は優勝してしまい、これは団野先生に知らせなくてはならず、広島原爆病院まで見舞を兼ね優勝報告をして来ました。

実習で卒業記念作品を作ったことは思い出深いものとなりました。

生徒と相談して綴織ヅグシの作品を毎年一つづつ、生徒五、六人で一つ作りました。主として繊維工業科の壁面にあると思いますが、図書館の正面の壁にも掛けておきました。

作品の仕掛花火は、P.Lの花火を題材にしたものです。富田林の市役所に行つて、この花火の資料をもらつて積りが、幸にも市役所の係長をしていた電気科の卒業生に思い掛なく遭えて、作品を完成させることが出来ました。

図書館の作品「シルクロードの旅」は有名な美術学校の学長さんが「シルクロードの旅」の作品を」という話を

聞いて「それではこちらも一つ作って見ようか」と生徒と手わけして資料を集めて作ったものです。

以上綴織として作品にしたものばかりですが、それぞれの思い出があるものです。

例年、六、七名の卒業生と京都植物園の満開の桜の下で、持参の弁当を開いて同窓会をやることにしているが、今年も趣向をかえて円山公園で花見することにしました。

卒業生たちも今年で五十歳。私も既に八十三歳。改めて月日の経つ早さに感慨無量です。



昭45年の卒業生と京都植物園で撮ったものです。

はじめまして

本年度、新しく赴任された先生方です。



ご苦勞さまでした

泉尾工業高校で勤務され、昨年度末でご退職、ご転勤された先生方です。先生方の今後のご活躍とご健康を祈念いたします。

氏名	教科等	前任校等
宮西 徳和	工業化学	東淀工高から
中川 勉	理科	府立福泉高から
坪田 博和	体育	智弁和歌山高から
大谷 正典	電気	泉二工高から
菅原 希	家庭	盲学校から

氏名	教科等	転出先等
夏村 岑生	電気	退職(引き継ぎ嘱託として勤務)
井上 満徳	工業化学	都島二工高へ
松下 眞治	電気	生野工業高へ
浅沼 彰	数学	桜宮高へ
大石 眞士	理科	淀商業高へ
小西 朋行	体育	桜宮高へ
河崎 貴祐	国語	平野養護学校へ
富成 一也	理科	扇町高へ
伊東由輝子	家庭	住吉商業高へ

この人登場!



株式会社ニオ 代表 大石繁男

泉工、日頃は記憶から完全に消えている響き、また35年経っても忘れる事のない不思議な響き。

就職試験では複数の会社を落ちて担任の川島先生が頼み込まれ、毛製品関係財団法人に就職することができ、すばらしい上司と先輩に巡り会え、私自身、社会人としての生き方のベースができたと感じております。

その後も折に触れ川島先生や先輩方に目をかけていただきながら糸偏を離れてコンピュータ関連に移って26年、その間、住友金属や三菱電機の出向でも上司に恵まれ、業務以外

いろいろなところご指導をいただきました。そのような方々のご指導を財産に卒業後就職した財団法人や出向先にて蓄積した実務知識とお客様のニーズを組合せた品質管理関係のシステムを基に14年前に独立しそのシステム一本で現在も頑張つて事業を続けております。

最近では海外客先への納入も増え中国やタイにも出張しています。日本の空洞化が叫ばれていますが、現地法人で日本の技術者が現地の技術者に技術指導を行っている姿を見ると日本人として誇りに感じ、このような形で世界に貢献できる部分も時代の流れかと「頑張つて欲しいな」と思う気持ちと重なり複雑な気持ちとなる次第です。

今後自分のできる範囲で日本やアジアの発展に超微力ながら貢献していきたいと思っています。

最後にお世話になった泉工と先輩方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

特に担任の川島先生には卒業後も機会ある毎に励ましをいただき、心より感謝申し上げます。

「片岡真太郎画集」

片岡真太郎氏（S18年12月卒）が昨年「片岡真太郎画集 風よ」を日動出版から発行された。

昭和33年の作品「寒露」以下、油彩、水彩、素描、装画など多数の作品が収められている。

母校図書館でも一冊購入し在校生の自由な閲覧を供している。

⑫ 職場の白水会 植田製油株式会社

私共が勤務しております植田製油株式会社は、食用油脂の製造及び加工をはじめマーガリンやショートニング等を製造しております。

現在、植田製油白水会の会員は10名になります。この数は、社内の工業高校出身校の中では最も多い人員になり、製造、営繕、電気、営業など製造業では無くてはならない重要なセクションで、日夜元気に活躍しております。

会員の交流としては、出来れば定例で親睦会等を行いたいと思うのですが、なかなか全く違つた部門ということもありまして、今もつて行なつた事は有りませんが、せつかく栄えある伝統を誇る泉尾工業出身という人達の交流の場としても是非実現したいと考えております。

現在、食品業界におきましては、大変厳しい時代になって来ましたが、世間の食品会社に対する風当りは日増しに高まるばかりですが、私達は食べ物を作るという仕事、とてもやりがいを感じています。

私共の会社内の白水

会の大先輩であります廣田實という方がおりまして、植田製油の生産技術に大変貢献され、現在も工場長として活躍されています。これからは、私達が、先輩方の積み上げてこられた有形無形の財産や伝統を引き継いでいきたいと思っております。

最後に、母校と会員のみならず益々のご発展をお祈り申し上げます。

- ※在職者は次の通りです。
- M34 廣田 實
- M61 木本典男
- M61 齋藤保浩
- M62 山下賢一
- E63 岩見 保
- M平5 佐原康彦
- M平6 栗井 明
- M平8 神崎 孝
- E平10 赤嶺英二
- M平12 中西裕生

(記 木本典男)



こんななか

どんななか

青色クラブ

昨13年は、私共七回目の巳年を迎え(クラスのほとんどが72才、四年前から一泊二日のクラス会「青色クラブ」を開催しております。

卒業後、五、十年の間隔で不定期に会合を持っていましたが、現役の間はみんな忙しさに追われ、同窓会の企画、連絡をする者がいなくて、約五十年間を過ごしてきました。

六十五才になりますと退職者もかなり増加し、ウイークデーでも集合できる機会ができて、はからずも在阪メンバーでない岡山在住の私が世話役を仰せつけられ、毎春秋の二日をほとんど回顧談に費やしております。

平成10年に赤穂、11年に湯郷温泉、12年に舞鶴と続け、昨秋は、10月17、18日に米子皆生温泉で11名の参加を得て行いました。

梅田、神戸三宮などから、バスで雨の皆生温泉に3時過ぎに勢揃い。
さっそく旅装を解いて浴衣

に着替え、雑談と入浴。6時からの宴会は、故景山 巨氏の冥福を祈り黙祷した後、藤田氏の音頭で乾杯。

正味3時間、隣り合わせでおしゃべりと個人の最近一年の出来事を披露。藤田氏の歌唱指導で「乾杯の歌」を歌い、散会。

この後、十畳の一室に集まり、和多田氏の尺八演奏から音楽の話、肺活量の低下、精力剤、性談に移り、最後はアプリケーション・ケミストリー、薬、ソルベントなどで幕を閉じたのはさすが？

翌日、朝の露天風呂は雨も上がり気持ちがい。午前中はとっとり花回廊を自由散策。2時過ぎ米子駅前解散し、それぞれのバスに乗車。

参加者が一人づつ減少し、やや淋しい気持ちだし、来年はもっと大勢が集まるよう、参加者みんなで呼びかけようとして話合いました。

(A22 福田長太郎)



3F2久々の再会

平成10年、泉尾工業高校フッション工学科を卒業。以来何度か同窓会を開催していましたが、約三年ぶりに、三月九日午後七時難波の串屋で行い、三十人中十四名が参加。担任の六辻先生とも再会することができました。

一人一人がやりがいのある仕事に就いたり、一児の母となり子育てに励んでいる人もいました。みんな楽しく仕事

の話や高校時代の思い出話を語り合ったり、写真を撮り合ったりで、時間がたつのもあつという間でした。

卒業して四年、皆なも変わらず、変わったとしたら髪の色と化粧をしていたことでした。次の同窓会は三十才になる前かなつと言ひ、この日は楽しい一日を過ごすことが出来ました(金築 瞳記)。

TOPIC こんな話

サッカー部 創立三年目に全国大会出場

大阪毎日新聞社主催の学校として知られてきた。第八回「日本フットボール大会」が、大正14(一九二五)年1月に甲子園球場で開催されました。同大会に学校が創立して3年目の泉尾工業学校が出場しております(大阪からは他に生野中、市岡中、高津中など計十校。この大会は、関西を中心に開催され、同年には二十校が出場し、神戸一中が優勝しております。高校サッカーの黎明期に、早くも全国大会に出場した泉尾工業学校はその後もサッカーの盛んな

当時のことをご存じの方がおられましたら、ご投稿ください。



白水会東京支部の近況

東京支部長 丹羽 富造 (A 28)

平成13年7月6日、九段下の九段会館で第51回東京支部総会が開催された。出席者は前年の支部50周年記念総会の時より少なかったが会員17名と白水会本部から3名の方が参加され計20名であった。景気不況と開催時の事情で参加数は左右される。

現在5年振りに支部会員名簿の改訂を進めております。第51回支部総会出席者(敬称略)山口繁一(A 4)、笹田泰治(S 11)、大都城是雄(A 12)、松本諒士(A 13)、小倉淑(S 16)、大谷湊(A 16)、大道那雄(A 18)、宇佐美昭司(A 20)、高橋誠(D 28)、丹羽富造(A 28)、福島辰雄(M 32)、辻欣男(A 32)、山本俊司(A 40)、山口健次郎(A 41)、井内房夫(M 46)、小笠原孝男(A 46)、志野元信(A 平3)、白水会本部より、北村翼校長、西山瑞彦会長(M 34)、榎本俊和常任理事長(C 41)

支部長挨拶に続き白水会会長西山氏、北村新校長先生のご挨拶及び榎本先生から母校の近況報告があり、山口大先輩(A 4)の乾杯の音頭で懇親会に入り楽しい一時を過ごしました。

東京支部としてその存在意義を考えると、会員の正確な消息を知ることが第一で、このことにより生活の場が母校を遠く離れていても、泉工卒業生相互の連絡が可能となり交流出来ることです。

事実私自身を含め多くの支部会員が大いにこの恩恵に与ったことであります。

この支部総会に始めて出席された方が2名ありました。それは白水会本部から送られる「白水会報」の送付の際、支部名簿になく関東在住の会員に支部

平成14年度支部総会

日時 7月5日(金)午後6時より

会場 九段会館

(03-3261-5521)

当日会費 7,000円

お誘い合せの上、多数のご出席をお願いします。

東京支部連絡先

(有むとす 小笠原孝男(A 46)

T E L 03-5550-6931

F A X 03-3545-8734



高橋 真琴個展

繊細なタッチ、ポップなオリジナリテイ、その普遍的な少女像は変わることのない魅力を持っていると言われる高橋真琴(誠、D 28卒)氏の4回目の個展が、今年も東京と関西で開催されます。

常に画業の原点初心を見つめながら、色あせることのない若々しい感性と、静かな情熱、そのドラマチックな作品性で、21世紀に向けて描きおろした新作ばかりを展示される予定です。

東京展 6月18、30日

北沢ギャラリー(神田神保町)

関西展 11月1、24日

ギャラリー小さい芽

(西宮市夙川、0798/33/3345)

いずれも入場無料。



(昨年のリーフレット)

資料提供のお願い

泉尾工高の学校としての歴史を示す諸資料の提供をお願いしたい。母校は、たびたび水害にあい、戦前はもちろん戦中・戦後の諸資料の多くは散逸してしまっております。印刷物・写真等を問わず、この機会に収集しておくべきかと考えます。

とくに戦前・戦中に発行されました校友会誌、白水会報などの提供をお願いしたい。

また、卒業生各位の卒業後の活躍の跡を示す諸著作、作品あるいは発明・発見・開

発などの成果を、在校生に目に見える形で残すようにしてはと考えます。先輩諸氏の社会的活躍の跡を見ることにより、在校生が一層奮起することを期待したいものでもあります。

ご提供いただいたものは、学校にて永久保存させていただきます。

なお、本年11月1日(金)の文化祭において、泉工資料展(仮称)を白水会として行いますが、その折にも展示・紹介させていただきます。

訃報

村上正己先生を偲ぶ

藪本 義雄

村上正己先生は、平成13年6月26日老衰のため永眠、101歳5ヶ月の天寿を全うされました。謹んで哀悼の意を表し、そのご冥福をお祈り致します。

先生は昭和21年4月、本校三代校長として赴任されました。筆者はその半年前に着任した新前の教員であった。教育者としての信念と情熱を持つよう薫陶を受け、ここに改めて感謝の意を表したい。

当時は敗戦後間もない頃で、人心は荒廃していた。学校は、鉄筋三階建てであったので外観はまだ堂々と見えたが内部は文字通り廃墟であった。この廢墟から立ち上がり往年の泉工に復興するのが悲願であり使命であった。この大変な命題に正面から立ち向かい陣頭に立って専心努力されたのが目に浮かぶ。苦しい復興期を終え、先生が都島工高に転勤(昭32)されてからその培われた成果が急速に実を結び熟した。その一つにスポーツの全盛時代を迎え、全国大会に次々と出場するようになった。

生徒達には積極的に接せられ「芸は身を助けると」！卑近な例を引いて分り易く、未来を展望した創造性豊かな技術者になれと、夢と希望を与える講話を巧妙な話術で熱弁を振るわれ、生徒を魅了し感動を与えられた。これは教える技術をそれとなく我々教員に示されたものであった。

特筆すべきは「工業教育を振興することは日本復興の急務である。」と施設・設備の近代化のため国に産業教育振興法を制定させた。戦後わが国の工業教育を飛躍的に発展させたのはこのお蔭である。先生は、その推進の中心人物の一人でその功績は大きい。

晩年、先生は日々好きな晩酌を楽しまれ、文筆にも親しみ生活をされていくと聞く。著書5冊内の一つ、「負けシヤモの軌跡(81刊)」の巻末に、80歳の弁として「希望のあるところに歓喜あり、この意味で私は80歳の青年である。」と。母校も80歳、先生のこの気力に負けないように記念事業を立派に終え更なる発展を祈念したい。終りに晩年筆者に「これからは徳を磨いていくように。」と、この教えを座右の銘として生きて、くよう努め、先生に肖りたい。願っている。

静かな紳士、藤倉先生

柴原 徳彰

昨年一月にいただいた賀状には、お家の方の手で、「筆が持てなくなりまして」とあった。今年はどうだろうと思いつつ春を迎えたが、ついに訃報に接することになった。

先生が四国から来阪された当初から親しくされていたという、真田山の明るい小さな寺院で葬儀が営まれた。うらかな春の陽気の中をひっそりと静かに逝かれた。

生前の先生も静かで穏やかな紳士だった。私は泉工で二年間ご一緒に在職したが、事々しい思い出は全くない。

清水 剛先生を偲ぶ

永遠の眠りに、幽明境を異にされました。享年九十歳 現世に幕を閉じられました。

「ゴウサン」と親愛の情を込めて、お呼びしていました。慈愛あふれる先生の笑顔が、いつまでも私達の臉に残りました。公私共に随分お世話になりました。酒の席には何時も加えていただきました。アルコールの駄目な私が「ヤブサン」「ジクサン」「ジンサン」

先生は昭和54年4月、都島工高から校長として赴任されてきた。私のいた教務課とは隣りの部屋であったが、仕切りの戸は滅多に開かれることもなかった。教務との仕事の絡みで出掛けられる時に顔を覗かせられる程度で、こちらから戸を開けると、大抵ひっそりと書見されていた。

会議の席でも控えめで、自分から積極的に発言されることはなかった。それでも職員会議では厳しい質問を受けることはあって、自室に引き上げてからも当惑顔で「ウーン、君ならどう思う」と率直に話しかけられることもあった。しかし、それほど間をおかず

と声がかかると、新世界まで梯子です。幾百回に及んだことでしょう。先生のオゴリです。勝負ごとは、誰でも勝ちたいたいものです。私も人後に落ちず、負けず嫌いです。例によって、麻雀をバレー仲間と一卓を囲んだ時です。「ジンサン」若い者から勝って楽しいか！この一声には参りました。先生は勝たない麻雀を楽しんでおられたのです。この時から私は麻雀を止めました。

学校)には、剣道・体育

対応される行動力があった。また、謹厳実直の見かけによらず庶民的で、気さくなお人柄でもあった。南国土佐の生まれのせい酒を愛され、楽しそうに酒を飲まれたが、賑やかな酒席よりも、帰宅の途中のれんに首を突っ込んで、見知らぬ人たちに囲まれながら、しかもひっそり一人の酒を楽しんでおられた様で、後にそのことを糺すと照れて「どうかあー。また一緒に行きましよう」と笑っておられた。

万事に静かで穏やかで、しかも暖かく庶民的な紳士、藤倉先生に満腔の感謝の意を表し、併せて御冥福をお祈りします。

祭・耐寒訓練・スケート・スキー等々新しく起案・実施まで尽力戴きました。いずれも立派な業績をもたらされました。クラブ活動では、野球・剣道・相撲・陸上・水泳・卓球・サッカー・バレー等いずれも黄金時代を迎えました。その遠征費の捻出に、その苦勞は大変でした。先生の人徳を慕っての諸先生方のご援助あればこそと存しております。

学校公務外でも、バレーボール使節団長として、全日本代表選手を率いて、南米諸国

に遠征されました。東京オリ
ンピックには、運営役員とし
て加わっておられます。大阪
バレーボール協会理事長は、
十年を越す長期にわたりその
要職を務められました。

その後泉尾工業高校より追手

礎 常和氏を偲ぶ

藪本 義雄

元白水会東京支部長 礎
常和氏は、平成13年12月10
91歳で永眠されました。謹ん
で心よりご冥福をお祈り致し
ます。

氏は、昭和3年窯業科を卒
業後、品川白煉瓦(株)に入社
(昭45)代表専務取締役就任、
顧問を最後に退職されました。

退職後は絵画を嗜まれ、ス
ケッチの旅を楽しみ余技とは
思えない見事な作品を発表、
各地の美術館で開催された白
亜会展には常連として出品さ
れていました。

日本セラミックス協会教育
委員会のある席上で、窯業の
大御所であった東京大学教授
永井彰一郎先生が、「わが国で
初めての熱管理士の試験で、
宮坂満喜三氏(元日本板ガラ
ス社長、東大卒)と礎常和氏
がトップの成績で合格された。
礎氏は泉尾工業学校の出身で、

門大学に転じ、残念なが
ら病の床に伏され長期入院、
病魔と戦いながらも、この度
天寿を全うされました。生前
の業績を偲ぶと共に、ご冥福
を心よりお祈り申し上げます。
(仁)

大学卒に匹敵する実力を持っ
ていた。工業学校の教育のす
ばらしさを賞賛された。その
時泉工教員として出席してい
た筆者は、鼻高高で誇らしく
感じたのを憶えている。帰校
後長野校長に報告、校長は早
速朝礼で全校生徒に発表し、
先輩に負けないよう在校生を
激励した。

また、泉尾二工教頭るとき、
礎氏から電話があり、「先程松
下幸之助社長の後任の社長に山
下俊彦氏が決まったとプレス発
表があった。ついでには現校長初
め関係のある先生にマスコミの
取材に遺憾のないようにとの連
絡を受けた。早速同級の片岡長
正氏にその人となりを尋ね関係
の先生方に伝えた。
このように気配りのよく行
き届いた方であった。
白水会東京支部長のときは、
面倒見のよい先輩として信望
も厚く慕われた。母校のため
にも尽力下された。氏的一端
を識して追悼とする。



母校によせられた会員の
方々の近況をお知らせいた
します。会費納入、住所変
更などの機会にどしどしお
便りをお送り下さい。

F平10 長岡 真也

久しぶりに母校を訪れて、
担任の上本先生はいなくて
(生野工で教頭をされていると
の事) 淋しかったけれど、F
科のほとんどの先生が声をか
けてくれたので本當にうれし
かったです。

F平10 木村 真由美

マロニエファッションデザイ
ン専門学校を卒業して、無事仕
事が決まり、がんばっております。
和泉繊維にて、テキスタイル
デザイナーをしております。
和泉繊維のHPを見てくださ
い(www.iizumi-seni.co.jp/)。

F平13 荒谷 康代

現在、専門学校に通って、
美容について学んでいます。
泉工時代の友人とは、今でも
連絡を取り合っていて仲良く
しています。

S16 沖 奨

私の所属するカメラクラブ
は13名、平均年齢72才を超え

ていますが、オフロードもブ
ンとばして頑張っています。

S17 武藤 寛志

平成10年成人病検査の結果、
白血球が異常に多く、急性骨髄
性白血病と判る。発病原因不明
で毎月外来受診していますが、
平常は元氣そのものです。

S35 平野 精二

生活が毎日充実しています。

S45 瀬戸 秀芳

毎年、恩師を囲んで集まっ
ています。いつまでも気の張
らない仲間達です。

S45 岸本 康子

今年も会報を見ながら30年
前の自分にもどっております。
でも、結婚して25年になりま
した。色々あるけど、家族み
んなでがんばるだけです。

D3 西村 桂一

いつまでも元氣でありたい
と願う心は皆同じ。然し年令
にはかなわない。

D9 安田 育雄

パソコン友達も増え、退屈
する暇もなしです。

D11 福永 義一

今後ますます泉尾工業高等
学校のご発展をお祈り申し上
げます。

D16 福嶋 節生

卒業して五十年。同窓会の
出席者がだんだん減つてしま
した。
健康には留意しましょう。

D16 山下 文雄

現役で元氣に働いています。

D16 本多 実

本田消防署懇話会長をやっ
との思いで退陣させて戴き、
町内のボランティア役は続け
て居ます。老人会の副会長役
で、総ての行事の責任者で唯
今多忙です。仕事からはもう
10年遠ざかりました。

D20 吉富 正和

平成8年3月退職。年金生
活に入る。退職後いろいろや
って来た趣味を活かして楽し
くやっている。テニス、スキ
ー、登山、写真、遊行、スキ
ューボード等いろいろがしく
やっています。

D 32 本間 靖

昨七月、天に向かつて穂先を突き立てるようにそそりたつ槍ヶ岳へ登ってきました。

八月には常念一大天井―燕岳縦走をし、素晴らしい登山を妻と共に完歩しました。

D 33 西岡 春樹

年令を重ねるにつれて、昔がなつかしく、三十八年ぶりに昔の勤め先の同窓会。小豆島の旧師と十八年ぶりの再会を果しました。

D 42 高野 礼子

仕事もますますがんばっていますが、毎週一回仕事が終わってボランティアですが、「冴木杏奈タンゴ保存会」でコンサート

の立ち上げをしております。 タンゴ界では世界一の若手ニュータンゴ歌手と

言われており、昨秋パリのコンサートには、六日間行きました。

今、これを通じて自分が本当に生まれてきて良かったなと思えるほど楽しんで

D 42 川本 映子

洋光台(横浜市)にあります円海山へ月二度くらいは歩いていきます。

D 53 邑智 信恵

息子二人がボーイスクウトにお世話になっております。上の子が三年目で班長、やつと一級をとりました。

D 57 野口 和也・さゆり

私たちの子供達も中学二年生と小学三年生になりました。

C 16 花城 清文

気力は元気ですが、体力が大分弱ってきました。年ですかネ。

C 20 岡田 茂

毎年6月に泉親会(C 20 D 20)一泊旅行で渡辺樗夫会長のもと楽しく

過しております。ぜひご参加下さい。

C 28 竹村 圭三

親からももらった身体を大切にタバコもやめ、まだまだ現役で頑張っております。

貧しくてよいよい、

な世の中にしたいですね。

C 35 滝川 泰三

二〇〇一年(辛巳)定年(9月)40年この道一筋。

C 60 長谷川 峯子

一家の大黒柱になり公私共々忙しい日々を送っています。

A 18 松本 好晴

来年は喜寿を迎えます。体はかかりつけの医師のもとに毎年検査して頂き、御蔭で青扇会(昭和18年卒)の世話幹事をさせて頂いております。

A 20 西井 正(妻)

平成12年10月30日病氣にて死亡致しました。生前の御交宜有難うございました。

A 20 藤原 昭三

今年三月に「七福神巡拝霊場」同じく四月に「十三弘巡拝霊場」の手引書をまとめてみました。

A 32 上田 賢司

元気にやっています。元気が防止に被災建築物応急危険度判定士に登録しました。

A 29 平島 幸一

2度目の停年で、昨年

末リタイアしましたが、地域の福祉ボランティアで頑張っております。

A 32 今井 弘

10年振りに英会話の勉強を再開しました。NHK文化センターで若い人達と一緒に肩の力を抜いて楽しく学んでいます。

A 35 戸田 勝裕

年齢、60、還暦を迎えまして、これからです。

A 36 稲葉 十四茂

平成10年3月に退職。のんびりとした日々を過ごしています。

A 37 宇都宮 正則

昭和54年4月に吹田市議員に当選以来、早や

A 41 今井 均

石にならないように努力しています。毎日が勉強、母校の発展を祈ります。

A 44 深井 史郎

50過ぎて、ワークホリックにかかって仕事大好き人間になってしまいました。

A 41 山本 喜久雄

A 41の仲間たち、80周年を記念して白水会総会に全員集合しよう。会える事を楽しみにしています。

A 54 福永 新

パソコンを教えてください。

M 20 長谷川 正雄

近所のきらくな仲間と100を切らないゴルフを楽しんでます。73才になると年々無理がきかなくなってきました。岸信介さんの年をとると「風邪を引くな、転ぶな、義理を欠け」を折にふれ実行しています。

E 41 田中 啓治

体重も体脂肪も変化なし。でもガンバルぞ。

E 45 畑崎 正嗣

2年前に大学院を修了し、現在も研究を続けながら人生を楽しんでいます。

E 44 三木 啓至

OKです。

M 28 浦浜 陽一

武田薬品を退職後6年になります。現在は自治会の役員5年目、民生委

員も受け、今年で一期(3年)終了。

M 61 圓山 猛

恩師の佐々木實先生、本当にお疲れ様でした。幼稚な僕らを本気で指導してくれて有難う。ご心配なく先生の白髪の数以上はこの世に育っています。ご恩は忘れません。

E 平13 徳井 晃

学生をしています。

